



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL https://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 経営サポート本部長 (氏名)加藤 広忠 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,721	△65.1	△1,253	—	△1,190	—	△1,128	—
2020年3月期第1四半期	16,388	2.6	△126	—	△64	—	△4	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,029百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 39百万円 (△67.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△304.84	—
2020年3月期第1四半期	△1.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,663	4,283	25.7
2020年3月期	18,060	5,335	29.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,283百万円 2020年3月期 5,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現段階において合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	3,882,500株	2020年3月期	3,882,500株
2021年3月期1Q	181,118株	2020年3月期	181,118株
2021年3月期1Q	3,701,382株	2020年3月期1Q	3,701,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する安定的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い政府より発出された緊急事態宣言、そして当社グループが事業活動の中心としております外食市場の各店舗に対する各都道府県による営業自粛要請に対し、外食事業者は感染拡大抑制に協力して一時的な休業や営業自粛を実施しました。

特に、4月7日に先行して緊急事態宣言が発出された7つの都府県（東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡）は当社の主要市場であり、緊急事態宣言が解除された5月31日までの期間において、それら都府県で営業する顧客のうち最大時には8割近くの店舗が一時休業や営業自粛を余儀なくされました。これにより当社の経営環境は大きな影響を受けました。

当社グループは、この急激な変化に対応すべく各種経費の抑制に努めるとともに、新規導入したアプリ等を活用し、テイクアウト用の食材・資材の提案を行う等ニーズの変化にも対応してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は57億21百万円（前年同期比65.1%減）、営業損失は12億53百万円（前年同期は1億26百万円の営業損失）、経常損失は11億90百万円（前年同期は64百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億28百万円（前年同期は4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、食材卸売事業者として感染症拡大防止に努めるとともに、緊急事態宣言発出と共にお客様が閉店を余儀なくされ当社の売上は急激に減少しました。この状況に対し販売管理費の抑制を行うべく、配送車両の一時的な停止やルート再編、在庫の適正化などに緊急的に取り組んでまいりました。その結果、売上高は50億55百万円（前年同期比67.0%減）、セグメント損失（営業損失）は9億74百万円（前年同期は54百万円のセグメント利益）となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコフーズブランド商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。しかしながら、同社の主要顧客も外食企業であり、得意先の営業自粛や営業時間の短縮などの影響を受け、売上高は6億70百万円（前年同期比38.0%減）、セグメント損失（営業損失）は31百万円（前年同期は63百万円のセグメント利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は34百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億96百万円減少し、166億63百万円となりました。これは主として、投資有価証券が1億22百万円増加し、現金及び預金が1億40百万円、受取手形及び売掛金が15億26百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少し、123億80百万円となりました。これは主として短期借入金が22億70百万円、長期借入金が7億34百万円増加し、支払手形及び買掛金が35億84百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億51百万円減少し、42億83百万円となりました。これは主として利益剰余金が11億50百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の29.5%から25.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想数値は、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明なことから、適正かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。なお、今後、新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、業績予想の公表が可能となった時点で速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,689	3,548
受取手形及び売掛金	5,039	3,512
商品及び製品	2,382	2,402
原材料及び貯蔵品	211	278
その他	613	510
貸倒引当金	△43	△30
流動資産合計	11,892	10,222
固定資産		
有形固定資産	2,417	2,501
無形固定資産	476	537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,703	1,826
その他	1,700	1,705
貸倒引当金	△131	△129
投資その他の資産合計	3,273	3,402
固定資産合計	6,167	6,441
資産合計	18,060	16,663
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,232	3,648
短期借入金	510	2,780
1年内返済予定の長期借入金	1,224	1,498
未払金	982	759
未払法人税等	97	6
賞与引当金	232	396
その他	339	357
流動負債合計	10,619	9,447
固定負債		
長期借入金	1,207	1,941
役員退職慰労引当金	193	189
退職給付に係る負債	240	241
資産除去債務	86	86
その他	379	471
固定負債合計	2,106	2,932
負債合計	12,725	12,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	253	253
利益剰余金	4,449	3,299
自己株式	△151	△151
株主資本合計	4,853	3,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	639
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	△75	△53
退職給付に係る調整累計額	△8	△7
その他の包括利益累計額合計	481	580
純資産合計	5,335	4,283
負債純資産合計	18,060	16,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	16,388	5,721
売上原価	13,132	4,528
売上総利益	3,256	1,193
販売費及び一般管理費	3,383	2,447
営業損失(△)	△126	△1,253
営業外収益		
受取事務手数料	19	6
受取配当金	26	17
物流業務受託収入	9	3
雇用調整助成金	—	56
その他	29	22
営業外収益合計	85	107
営業外費用		
支払利息	2	6
物流業務受託収入原価	15	10
支払手数料	—	18
その他	5	7
営業外費用合計	23	43
経常損失(△)	△64	△1,190
特別利益		
投資有価証券売却益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△10	△1,190
法人税、住民税及び事業税	32	2
法人税等還付税額	—	△44
法人税等調整額	△41	△19
法人税等合計	△9	△62
四半期純損失(△)	△0	△1,128
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△1,128

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△0	△1,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	72
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	△18	21
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	40	99
四半期包括利益	39	△1,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39	△1,029
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場は、2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染症の拡大が進み、東京都知事による「外出自粛要請」や政府の「緊急事態宣言」発出に伴う営業自粛要請もあって、客数の急減に見舞われました。「緊急事態宣言」解除後、やや回復の兆しが見えたものの、7月以降は感染症が再び拡大局面にあって、先行きの不透明な状況が続いております。

その結果、当社グループにおいても当該第1四半期は、業績面で大きな影響を受けました。現時点では感染症拡大の終息が見通せず、影響の広がりも依然不透明な中、当社が把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、当該業績の回復が2020年秋以降になると仮定した将来の課税所得に基づく繰延税金資産の回収可能性及び将来のキャッシュ・フローに基づく固定資産の減損会計等の見積りを行っております。

また、当該会計上の見積りの仮定については前連結会計年度から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,305	1,081	1	16,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	—	34	45
計	15,317	1,081	35	16,434
セグメント利益	54	63	25	143

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	143
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△272
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△126

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,050	670	0	5,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	—	34	39
計	5,055	670	34	5,760
セグメント利益又は損失(△)	△974	△31	27	△978

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△978
セグメント間取引消去	△9
全社費用(注)	△265
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,253

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。